

住宅医 スクール

2016 受講生募集 ●●●

- 【日 時】 2016年6月～2017年2月(全8回、4講義/回)
各回 10:30～18:15(受付 10:00～) ※講義日、講義内容は裏面参照
- 【場 所】 (東京会場) 貸教室・貸会議室「内海」東京学院ビル3階
(東京都千代田区三崎町3-6-15)
- (大阪会場) 大阪工業技術専門学校6号館3階
(大阪府大阪市北区天満1-8-24)
- (広島会場) 広島工業大学広島校舎301号室
(広島市中区中島町5-7)
- (熊本会場) 第1回・第3回 ユースピア熊本 県青年会館201・202号室
(熊本市中央区水前寺3丁目17-15)
第2回・第4回～第8回 熊本市国際交流会館4階第3会議室
(熊本市中央区花畑町4-18)

※〔東京－大阪－広島－熊本〕
スクール間の振替受講可能

- 【主 催】 一般社団法人 住宅医協会
- 【定 員】 40名程度(先着順。各回とも定員になり次第締切とさせていただきます)
- 【受講料】
(税込) 新規受講生(通年) 100,000円/年一括
- 正会員・一般会員 1,000円/日
- 過去の通年申込生(修了生含む)、木造建築病理学履修生
2,000円/日
- 当日スポット受講生 5,000円/1講義毎
- 【申 込】 裏面記載

※住宅医スクールは、長期優良住宅化リフォーム推進事業(国土交通省)の
インスペクター講習団体として登録されました。

各会場案内図

※詳細は各会場HPのアクセス情報をご参照下さい

<p>東京 貸し教室「内海」東京学院ビル</p> <p>tokyo dome</p> <p>JR 水道橋 ■西口より 徒歩 約1分 都営 水道橋 ■A2 出口より 徒歩 約5分</p>	<p>大阪 大阪工業技術専門学校</p> <p>JR 大阪天満宮 ■2番出口より 徒歩 約7分 地下鉄 天満橋 ■2番出口より 徒歩 約7分 京阪電車 天満橋 ■13号階段を上り 徒歩 約7分</p>	<p>広島 広島工業大学広島校舎</p> <p>広島駅より ■広島電鉄 広島港(宇品)行き 袋町下車 徒歩 約10分 ■広島バス 吉島営業所 又は、吉島アパート行き 平和記念公園下車 徒歩 約5分</p>
<p>熊本 ユースピア熊本県青年会館</p> <p>熊本駅より ■JR 豊肥本線 水前寺 下車 徒歩 約7分 熊本空港より ■車で30分、■産交バス 水前寺公園前 下車 徒歩 約15分</p>	<p>熊本 熊本市国際交流会館</p> <p>熊本駅より ■熊本市営電車 花畑町下車 徒歩 約3分 熊本空港より ■車で約45分、■産交バス 熊本交通センター 下車 徒歩 約3分</p>	<p>富士 富士市交流センター</p> <p>JR 富士より ■北口より 徒歩 約7分 新幹線 新富士より ■車で約10分</p>

住宅医プレスクール富士のご案内

2016年住宅医スクールはプレスクールを経て広島・熊本で開催されますが、2017年に静岡県富士市で本スクール開催を前提に、広報周知を目的としたプレスクールを行います。場所や時間的に住宅医スクールへの参加が難しい、住宅医スクールの内容が気になる方も参加可能です。お問い合わせ・申し込みは住宅医協会まで

(場所) 富士市交流センター (〒416-0915 富士市富士町20-1 ☎0545-65-5523)

第1会議室 (90席) ※都合により第2回以降は変更になる場合があります。

(主催) 一般社団法人住宅医協会

(共催) (社) 富士山木造住宅協会

(対象者) 工務店、設計事務所の建築士など (定員: 60名)

(参加費) 一括申込: 18,000円 一日申込: 8,000円 (※新規受講生。富士山木造住宅協会会員、住宅医協会会員は別途お問い合わせ下さい)

第1回
2016年
7/20 (水)

- 第1 講義 木造建築病理学と住宅医
三澤文子 (MSD+Ms 建築設計事務所主宰 / 住宅医協会理事)
- 第2 講義 木造住宅関連施策の動向とその対応
池田浩和 (岡庭建設(株)専務取締役)

第2回
2016年
10/19 (水)

- 第1 講義 住宅医による温熱省エネ改修手法
豊田保之 (トヨタヤスシ建築設計事務所代表 / 住宅医協会理事)
- 第2 講義 ストックビジネスの今後~資産価値が上がる改修・メンテナンス
印南和行 (㈱南勝代表取締役)

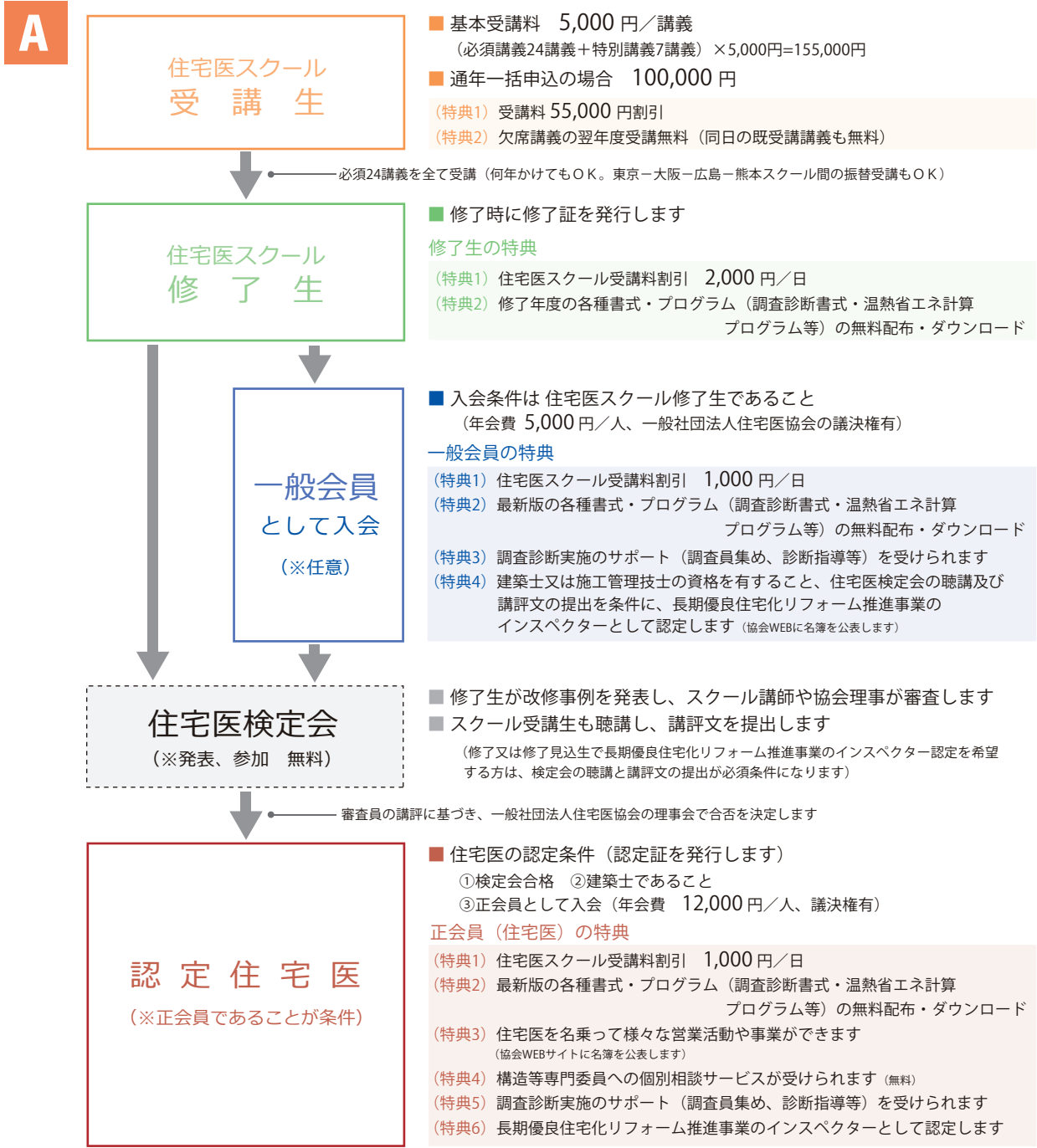
第3回
2017年
1/25 (水)

- 第1 講義 住宅医による既存住宅の調査診断
滝口泰弘 (滝口建築スタジオ主宰 / 住宅医協会理事)
- 第2 講義 性能向上を実現させる木の家リフォームの実践
三澤康彦 (Ms 建築設計事務所代表)

住宅医スクール



Q 住宅医スクールの受講から住宅医の認定までの具体的な流れは？
住宅医スクール受講生、修了生、住宅医の違いやメリットは？



Q 一般社団法人住宅医協会の会員種別は？
会費は？

A 一般社団法人住宅医協会の会員種別および会費は以下の通りです。

(正会員) 住宅医個人が対象 年会費 12,000円/人
(一般会員) 修了生が対象 年会費 5,000円/人
(賛助会員) 本協会を支援して頂ける個人・法人・団体が対象
個人賛助会員 年会費 1口5,000円(1口以上)
法人・団体賛助会員 年会費 1口5,000円
(非営利団体は1口以上、営利団体は10口以上)

Q 長期優良住宅化リフォーム推進事業のインスペクターとは、どのようなものでしょうか？

A 長期優良住宅化リフォーム推進事業で必須としている住宅のインスペクション(現況検査)は、インスペクター講習団体に登録されたインスペクターによる実施が必須となりました。一般社団法人住宅医協会は、平成27年4月に講習団体として登録されましたので、住宅医スクールを修了し、所定の条件をクリアした方をインスペクターとして認定致します。



その他、不明な点は住宅医協会までお問合せ下さい。

既存住宅改修のスペシャリスト「住宅医」の育成

住宅医スクールの運営から「住宅医」の認定まで 住宅医協会がサポート

● 住宅医スクールとは

量から質へ。優良な住宅ストック社会の構築が求められる中、既存住宅の調査・診断・改修設計・施工・維持管理等の基礎から実践までを学ぶためのスクールです。英国の建築病理学をヒントに、2006年に岐阜県立森林文化アカデミーで開講した「木造建築病理学講座」の内容を軸に、主に住宅実務者を対象として、毎年、東京・大阪・その他会場で開講しています。

既存住宅の調査・診断・改修設計・施工・維持管理等の技術はまだ発展途上ですが、地域の住まいのドクターである「住宅医」を育成し、一般社団法人住宅医協会を通じて各々のスキルアップを継続させ、優良な住宅ストックづくりへ貢献することを目的としています。

● 全24の必須講義+7つの特別講義+建物詳細調査への参加

講義内容は、技術の向上や社会的ニーズに応じて随時改良していきますが、現在は劣化、耐震、温熱等の24の必須講義と、ゲスト講師による7つの特別講義を実施しています。24全ての必須講義を受講された方(住宅医修了生)には、住宅医スクール修了証を発行しています。

また、住宅医や住宅医修了生が手掛ける住宅改修物件の建物詳細調査も実施しています(状況に応じて、不定期)。住宅医スクール受講生の方々にも、実習の場として積極的に参加してもらうことで、調査診断のスキルアップを図っています。

● 既存住宅の調査診断～改修の実践

既存住宅の調査診断や改修に際しては、実に多様かつ柔軟な対応が求められます。一般社団法人住宅医協会では、机上の知識だけでなく特に実践力を重視しています。住宅医スクール修了後、各位の住宅改修業務において、スクールで得た知識や技術を用いて既存住宅の調査診断から改修までを実践して頂きます。調査診断のための建物詳細調査の実施については、他の住宅医や住宅医修了生、住宅医スクール受講生も参加できるよう、一般社団法人住宅医協会がサポートしています。

● 住宅医検定会～住宅医の認定

毎年各会場にて、住宅医修了生を対象に実施物件のプレゼンテーションを行う「住宅医検定会」を開催しています。検定会ではスクール講師、協会理事等が審査員となり、住宅医としての実践力を総合的に判定しています。住宅医検定会に合格された方は、建築士であること、及び一般社団法人住宅医協会の正会員として入会することを条件として「住宅医」として認定されます。

住宅医は実務者の育成や活動の普及を目的とした、一般社団法人住宅医協会による認定です。公的な資格ではありませんが、より多くの住宅医を生み出すことで、各地の住宅ストックの諸問題解決へ寄与したいと考えています。

お申込み・お問合せ先

一般社団法人 住宅医協会 事務局

〒553-0003

大阪府大阪市福島区福島2-9-16

[TEL] 06-6454-3465

[FAX] 06-6458-5090

[E-mail] info@sapj.or.jp

[E-mail] school@sapj.or.jp (スクール申込み専用)

[URL] http://sapj.or.jp



一般社団法人 住宅医協会

Society of Architectural Pathologists Japan



長期優良住宅先導事業(H20-H23国交省)の採択をきっかけに、学識者や実務者の有志により2008年に組織された任意団体「住宅医ネットワーク」の活動を経て、2014年に設立しました。

良質な住宅ストック社会の構築を目指して、既存住宅の調査診断、改修、維持管理に関する技術開発と人材育成を目的として、活動を行っています。